

★ 保険申込みにあたり本紙の提出は不要です。

あんしん既存住宅売買瑕疵保険
提出書類確認シート【戸建住宅専用】

申 込 関 係 書 類	申込書および添付書類				備考		
	全 て の 住 宅	<input type="checkbox"/>	あんしん既存住宅売買瑕疵保険契約申込書【戸建住宅専用】		本帳票1枚目		
		<input type="checkbox"/>	付近見取図				
		<input type="checkbox"/>	各階平面図またはこれに代わる図面等		間取（各室の用途）がわかるもの（壁、開口部（玄関・窓・天窓等）、木造または鉄骨造の場合は床下点検口・小屋裏点検口の図示が必要です）		
		<input type="checkbox"/>	新耐震基準等に適合していることが確認できる資料		下記「新耐震基準等に適合していることが確認できる資料一覧」のいずれかの資料が必要です		
	リ フ ォ ー ム 工 事 中 ま た は 引 渡 し ま で の 間 に リ フ ォ ー ム 工 事 予 定 の 住 宅	リ フ ォ ー ム 工 事 全 て	<input type="checkbox"/>	リフォーム工事の内容がわかる資料			
		構 造 の 工 事 を 含 む 場 合	<input type="checkbox"/>	構造図等	<input type="checkbox"/>	工事工程表	構造の工事とは、耐力壁、筋交い、柱・梁、小屋組の新設または撤去を伴う工事をいいます
		防 水 の 工 事 を 含 む 場 合	<input type="checkbox"/>	防水措置の状況に関する資料	<input type="checkbox"/>	工事工程表	防水の工事とは、防水層の新設または撤去を伴う屋根工事・外壁工事をいいます
住 宅 に よ り 異 な る も の	<input type="checkbox"/>	あんしん既存住宅売買瑕疵保険 不具合状況確認シート【戸建住宅専用】			本帳票3枚目（保険対象部分のいずれかに不具合がある場合に添付が必要です）		
	<input type="checkbox"/>	シロアリ損害担保特約確認シート			本帳票4枚目（シロアリ検査を実施する場合に添付が必要です）		
	<input type="checkbox"/>	住宅あんしん保証の他の保険契約で実施した現場検査結果または事前現場検査結果に関わる資料			過去の検査結果または事前現場検査の結果を活用して検査を省略する場合に必要です		

新耐震基準等に適合していることが確認できる資料一覧

□「保険対象住宅の建築確認日が1981年（昭和56年）6月1日以降の場合」

資料	建築確認日等(※)	備考
建 築 確 認 等 に 関 する 資 料	確認済証または建築確認通知書の写し	建築確認日
	検査済証の写し	
	特定行政庁が交付する建築確認等に係る記録を証明する書類の写し	
住 宅 金 融 公 庫 融 資 に 関 する 資 料 (フラット35の融資を含む)	公庫融資〔設計検査〕に関する通知書の写し	設計検査の合格年月日
	公庫融資〔現場検査〕に係る通知書（竣工時）の写し	現場検査（竣工時）の合格年月日
	公庫による抵当権が設定されていたことが分かる登記事項証明書（登記簿謄本・抄本）の写し	抵当権設定登記の日
登記の原因（新築）の日付が昭和58年4月1日以降である登記事項証明書（登記簿謄本・抄本）の写し		登記の原因（新築）の日
登録住宅性能評価機関が発行する建設住宅性能評価書（新築）の写し		評価書交付年月日
住宅瑕疵担保責任保険法人が発行する新築住宅瑕疵保険の「保険証券」または「保険付保証明書」の写し		保険契約締結日
住宅瑕疵担保責任保険法人が発行する既存住宅売買瑕疵保険の「保険証券」または「保険付保証明書」の写し		保険契約締結日
		保険の新規申込受理日が2013年（平成25年）1月以降のものに限りす

□「保険対象住宅の建築確認日が不明もしくは1981年(昭和56年)5月31日以前の場合」または「構造耐力上主要な部分の新設または撤去を含むリフォーム工事等が行われた場合」

資料	建築確認日等(※)	備考
耐震基準適合証明書の写し	証明年月日	平成17年国住備第2号他通知「住宅借入金等を有する場合の所得税額の特別控除制度等に係る租税特別措置法施行規則第18条の21第1項第2号等の規定に基づく国土交通大臣が財務大臣と協議して定める書類および地方税法施行規則第7条の6の2第2項の規定に基づく国土交通大臣が総務大臣と協議して定める書類等に係る建築士等の行う証明について」の「別紙2 耐震診断チェックシート」その他税の証明書である「住宅耐震改修証明書」等も含みます
構造計算書または構造確認書の写し	作成年月日	建築士が現行建築基準（建築基準法施行令第3章および第5章の4に定める構造耐力基準）に適合していることを、仕様規定への適合性のチェックや構造計算によりチェックしたことを確認できる書類に限りす
耐震診断の結果報告書の写し	新耐震基準等に適合することを確認した日	建築士が、国土交通大臣が定める基準（建築物の耐震改修の促進に関する法律第8条第3項第1号に基づき地震に対する安全上耐震関係規定に準ずるものとして国土交通大臣が定める基準（平成18年国交省告示第185号：（財）日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」、 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」等））に該当する診断基準に従って診断したこと、診断結果およびその評価結果が確認できる書類に限りす
固定資産税減額証明書または住宅耐震改修証明書の写し	証明年月日	
登録住宅性能評価機関が発行する建設住宅性能評価書の写し	評価書交付年月日	品確法第5条第1項に基づく評価方法基準第5の1の1-1(4)イおよびロに規定する基準（耐震等級（構造躯体の倒壊等防止）に係る評価が等級1以上であることを確認できる書類に限りす

※ 提出する書類に応じた日付を申込書の「建築確認日等」の欄にご記入ください。


**あんしん既存住宅売買瑕疵保険
不具合状況確認シート【戸建住宅専用】**

あんしん既存住宅売買瑕疵保険の申込みにあたり、対象住宅の不具合状況について事前に確認した内容を、次のとおり報告します。

注1) 本紙を参考に現場検査員が現地で確認をいたしますので、正確にご申告いただくようお願いいたします。

注2) すべての保険対象部分に報告すべき不具合がない場合(☑チェック「なし」となる場合)は、本紙を提出する必要はありません。

保険契約者	登録事業者番号							-				
	商号											

確 認 者	確 認 日	西暦 20 年 月 日
	担 当 者 名	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 署名または記名・捺印をしてください  (担当者印可) </div>

住宅情報	所在地	〒 ー
	買主名は未定の物件	

●すべての住宅

保険対象部分の不具合の有無を☑チェックし、「あり」の場合は不具合を確認した場所をご記入ください

保険対象部分		不具合の内容	不具合の有無		不具合を確認した場所
関 す 構 造 に 関 する 部 分	基礎	幅0.5mm以上のひび割れまたは深さ20mm以上の欠損	<input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/> あり	
		鉄筋の露出	<input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/> あり	
	外壁	著しいひび割れ、欠損、浮き、はらみまたはハク落	<input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/> あり	
		金属の著しい錆びまたは化学的侵食	<input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/> あり	
関 する 部 分	外壁	シーリング材の破断または欠損	<input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/> あり	
		建具の周囲の隙間または建具の著しい開閉不良	<input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/> あり	
	内壁・天井・小屋組	雨漏りの跡	<input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/> あり	
	屋根	著しい破損、ずれ、ひび割れ、劣化、欠損またははがれ	<input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/> あり	
		防水層の著しい劣化または水切り金物等の不具合	<input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/> あり	

●「管路・設備担保特約」を付帯する場合

保険対象部分となる管路・設備の有無を☑チェックし、「あり」の場合は上記と同様に不具合状況をご記入ください

保険対象部分			不具合の内容	不具合の有無	不具合を確認した場所
管路	給排水	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	給水管・排水管	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	給湯管		
		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	污水管		
設備	給排水	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	受水槽・高架水槽	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	温水器		
		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	ポンプ類		
		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	ます		
電気設備	電気設備	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	受変電設備・開閉器盤・動力盤	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	配線		
		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	分電盤		
設備	ガス	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	ガス配管	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	中継遮断弁		

**あんしん既存住宅売買瑕疵保険【戸建住宅】
シロアリ損害担保特約確認シート**

シロアリ損害担保特約の申込みにあたり、保険対象住宅の状況について事前に確認した内容を、次のとおり報告します。

注) 本紙を参考にシロアリ現場検査員が現地で確認をいたしますので、正確にご申告いただくようお願いいたします。

保険契約者	登録事業者番号									-				
	商号													

確認者	確認日	西暦 20 年 月 日	
	担当者名	署名または記名・捺印をしてください	
			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 印 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">(担当者印可)</div>

住宅情報	所在地	〒 一
	買主名 未定の場合 は名	

シロアリ損害担保特約を付帯する際の注意事項

- 検査時にシロアリの被害が発見された場合、シロアリ損害担保特約を付帯することはできません。また、屋外部分の切り株や床下の木くずの状況等、蟻害の発生が懸念されると総合的に判断された場合も、同様の扱いとします。
- シロアリの被害等により検査後に土台等の基本構造部分の補修・交換を行った場合は、再検査（有料）が必要となります。
- このシロアリ現場検査はあんしん既存住宅売買瑕疵保険契約の締結を目的とした検査であり、シロアリの防除施工は行いません。また、シロアリ現場検査により対象住宅に瑕疵がないことを保証するものではなく、シロアリ検査報告書は対象住宅の性能を評価し、表示するものではありません。
- 被害範囲や加害種の特定のため、検査立会者にお伺いのうえ、木部にドライバーを差し込む等の小規模な破壊検査を実施する場合があります。（ご承諾いただけない場合、シロアリの有無が確認できず、シロアリ損害担保特約のお引受けができません。）
- シロアリ現場検査の実施日より6ヶ月を超えて引き渡す場合は、別途追加検査（有料）が必要となりますのでご注意ください。
- 検査を行ったシロアリ検査会社が、瑕疵保険とは関係なく独自に防除施工や定期点検サービス等の提案をさせていただく場合があります。
- シロアリ損害担保特約は、地域を限定して提供させていただくため、対象エリア外からのお申し込みはお断りさせていただく場合があります。
- シロアリ損害担保特約の保証内容についての詳細は、別紙パンフレット等をご参照ください。

●シロアリ損害担保特約を付帯できる住宅の条件

以下のすべての項目についてご確認ください。ひとつでも「いいえ」がある場合は、原則としてシロアリ損害担保特約の申込みはできません。

チェック項目	該当の有無	備考
浴室はユニットバスですか。 ユニットバスとは、浴室を構成する部材を工場で成型し、現場で組み立てる浴室のことをいいます。一方のモルタル等を用いる湿式工法の場合は、床下の状況が確認できないためお申込みできません。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
建物の外部から、基礎立ち上がり部分の表面が目視できる状態になっていますか。 塀や物置などの障害物により、基礎立ち上がり部分の目視確認ができない場合はお申込みできません。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
床下点検口から進入し、住宅全体の床下の状況を点検することができますか。 検査員が床下に入らず、住宅の基礎部分全体を点検できるルートが確保されていない場合はお申込みできません。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
基礎立ち上がり部分に断熱材が施工されていませんか。 基礎断熱工法の場合は、目視検査のみでは断熱材内部の蟻道の発見が困難なため、お申込みできません。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	

●注意事項

<p>検査時に、上記の特約付帯条件のチェック項目が「いいえ」となることが判明した場合でも、検査をしているため、検査手数料はお支払いいただきます。 また、上記以外にも検査の結果、引受けができない場合があります。</p>	<p><input type="checkbox"/> 注意事項について理解し、承諾します。</p>
--	--

※ 検査後に上記の特約付帯条件に適合させるための措置を講じた場合であっても、再検査を実施することはできません。

●検査時の参考項目

検査時に参考といたしますので、わかる範囲で下記の設問にご回答ください。

チェック項目	該当の有無	備考
以前にシロアリを発見したことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わかりません	
床がフカフカするなどのシロアリ被害の疑いのある箇所がありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わかりません	
雨漏りの疑いのある箇所がありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わかりません	

シロアリ損害担保特約を付帯できる住宅の条件

シロアリ損害担保特約の付帯をご希望の場合は、次の4点の条件を満たすことをお確かめのうえ、お申込みください。
検査の実施時に以下の条件に当てはまらないことが判明した場合でも検査料は返還しません。



シロアリ損害担保特約が対応していないエリア

※山形・新潟・三重・滋賀・京都・兵庫・和歌山・佐賀・長崎については、一部対応していない市町村もありますので、個別にお問い合わせください。

北海道・青森・秋田・徳島・高知

1 基礎立ち上がり部分に断熱材が施工されていないこと



床下をのぞいたときに外の光が見えている



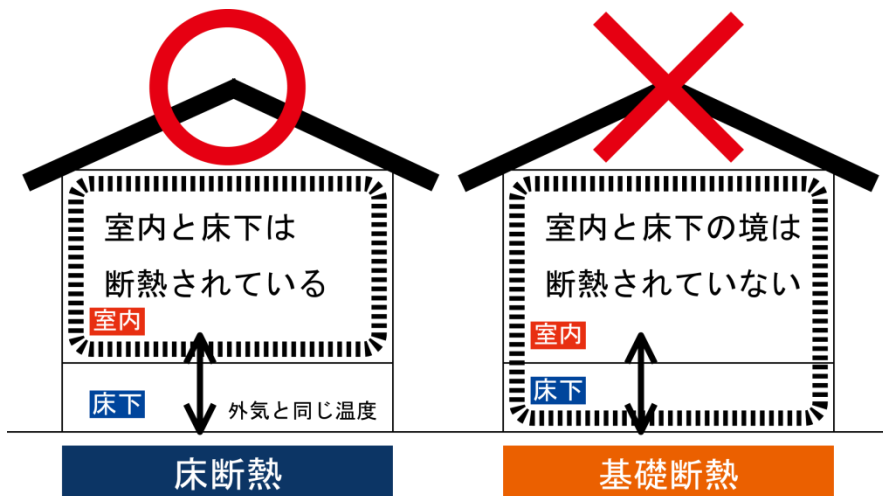
屋外から見て床下換気口がある



点検口のフタが断熱されている



床の裏側に断熱材がある



床断熱は1F床の位置が断熱境界となっており、床下は換気口などにより外気が入り出ることができる構造になっています。

基礎断熱は外壁に面する基礎立ち上がり部分に断熱材が貼られており、床下と外気の気密が保たれています。



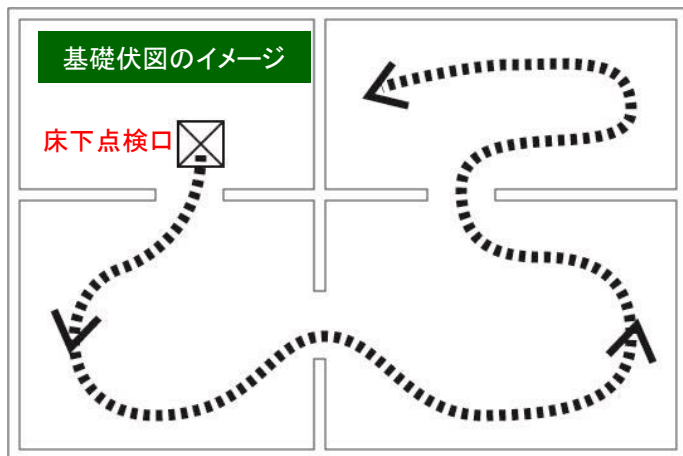
基礎断熱(内断熱)の例

※上記はシロアリ損害担保特約の付帯可否を説明したものであり、床断熱と基礎断熱の性能等の評価ではありません。

2 住宅全体の床下状況が点検できること



点検用の人通口がある(点検可能な基礎高さが必要)

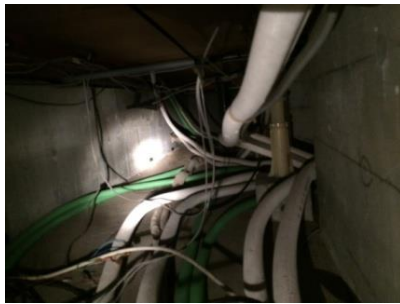


人通口を利用して床下全体の点検が可能である

⚠ 床下全体が点検できない住宅の例



開口部が狭すぎる



配管、配線が集中している



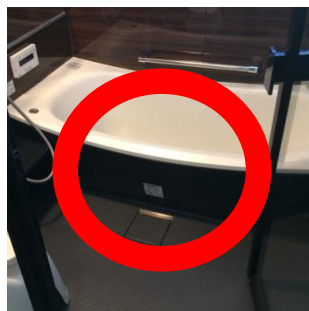
配管と根がらみが障害となっている

3 戸建住宅であること



戸建住宅と同様の建物であっても、二世帯住宅はNGとします

4 浴室がユニットバスであること



ユニットバス



在来工法

ユニットバスはトイレとセットになっている必要はありません。ハーフユニット(壁の下半分のみ)も可です

本ご案内はシロアリ損害担保特約についてご説明したものです。既存住宅瑕疵保証・保険サービス「個人間売買型」「宅建業者売主型」の申込みにあたっての詳細は、別途リーフレット等をご確認ください。なお、ご不明点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

アットホーム株式会社 ビジネスリンケージセンター

TEL.0120-692-168

受付時間: 9:00 ~ 17:00 【土、日、祝、特定日を除く】

※PHS・携帯電話の方は、TEL. 03-6686-4324まで

※お問合せの際はサービス名などをお伝えいただけますと、話がスムーズです